

令和7年度
大阪狭山市市民公益活動促進補助金
申請書類

公開期間

令和7年4月1日(火)～令和7年4月18日(金)

※市HP、公民連携・協働推進グループ、市民活動支援センターで閲覧可能です。

令和7年 2月 26日

(あて先) 大阪狭山市長



所在地

ふりがな 特定非営利活動法人
 団 体 名 とくいていひえいりかつどうほうじん
 みなみおおさかさほーとねっと
 南大阪サポートネット

ふりがな はまじ ひろこ
 代表者氏名 浜治 弘子

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及 び 部 門	ひきこもり、不登校に関する支援マップ作成	
	入門部門 ・ チャレンジ部門 <u>自立促進部門</u> (提案型・テーマ型)	
総 事 業 費	522,500	円
補 助 対 象 経 費	522,500	円
補助金交付申請額	261,000	円
添 付 書 類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (※入門部門は不要) (4) 団体の概要説明書 (5) その他 ()	
※ 市 使用欄	部門・回数	令和7年 自立促進 部門 2 回
	実 績	

(別紙1)

団体名 特定非営利活動法人 南大阪サポートネット

事業計画書

1. 事業名 ひきこもり、不登校に関する支援マップ作成

2. 事業内容・目的

内閣府調査で15才～64才までのひきこもりは約146万人にのぼる。社会との関りを持ってない当事者自身が支援窓口や相談に行けない状態がほとんどで、まず家族がその役割を担うことになる。苦しんでいる子どものことで悩んでいる親も要支援者である。当法人の親へのアンケートで8割の方から「どのように探すのか、どこが適切なのかがわかりにくい」「相談先で理解が得られなかった」「公的機関では民間の情報がもらえない」等、困っている現状の声があった。ひきこもりの起因が様々で重複していることもあるが、必要な安心した情報を得ること自体が難しいのが現実である。可能な限り現場に出向き実際に利用した人からの感想を含む情報を集め、学習交流会などの機会に連携先との研鑽・交流を図り、顔が見え信頼がおけるリアルなものとして紙媒体とSNSで発信し、負担なく情報に出会えるようにする。課題の特性上、住居エリアには行きづらい方も多いので近隣他市にわたる情報が必要である。

3. 事業実施期間 令和7年4月～令和8年3月末日

4. 事業実施場所 To-Villa トビラ (半田6丁目1179)、各所訪問先

5. 事業対象者 市民、近隣他市市民、ひきこもりなどの当事者・家族、支援者

6. 参加者見込人数 ◎主催者 10人 ・ ◎一般 20人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	スペースわん、登校拒否を克服する会 大阪狭山市福祉政策グループ、CSW	<input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 交渉中 <input type="checkbox"/> その他
協力・連携等 内容	情報収集協力、学習会講師協力、情報チラシ設置など	

8. 事業の広報・参加者の募集方法 (市民への周知方法等について書いてください。)

情報チラシ設置 (ひきこもり当事者家族会、社会福祉協議会及び関係機関への配布)
ホームページ、SNS、LINE 公式アカウントでの告知

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

【年間スケジュール】

定例会議と作業 毎月開催 (年間12回) 情報収集のための訪問 (年間10カ所)
研修と交流会開催 (年間3回、他団体との連携づくりと情報発信者としての研修)
上記の機会に情報の収集と検討、チラシやサイトの作成、地域連携を図る

【組織体制】

当法人スタッフを軸に当事者家族会のメンバー、近隣他団体の支援者、などと協力して事業実施を行います。

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- ① 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- ② 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③ 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- (4) その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- ① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - (2) 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7) 環境の保全を図る活動
 - (8) 災害救援活動
 - (9) 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - ⑬ 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - ⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

※事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

基本的には参加者自身の意向を尊重する。

室内事業実施時はマスク着用、手指消毒を推奨する。屋外事業の場合は夏場など熱中症の予防と併せて臨機応変に対応する。

室内の場合は参加者人数の考慮や定期的な換気をし、あまり密にならない会場設営をする。事業参加者に感染予防対策への協力を依頼する。

参加者把握のため、連絡先などの情報を提出してもらい個人情報管理に注意し保管する。

緊急事態宣言などの発令があれば、事業内容の変更または中止も視野に入れてその都度検討する。

(別紙2)

収 支 予 算 書

団体名 特定非営利活動法人南大阪サポートネット

収入の部

項 目	予算額	内 容 説 明
1. 団体自己負担金	131500	団体より
2. 市補助金	261000	
3. 事業収入		
4. 寄附金・協賛金	130000	協賛金 @10000×5 寄付 50000円 寄付@300×100
5. その他		
合 計	522500	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	273000	273000	
2. 旅費	90000	90000	
3. 需用費	139000	139000	
4. 役務費	3000	3000	
5. 委託料			
6. 使用料及び賃借料	17500	17500	
7. 原材料費			
8. その他			
合 計	522500	522500	

《経費説明資料》

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
報償費	研修会講師・ファシリテーター謝礼	30000	3	90000	90000	
	調査出向、報償費 2人×8か所×2回	3000	32	96000	96000	
	WEB管理謝礼	3000	12	36000	36000	
	定例会・作業・研修会サポートスタッフ報償費	3000	17	51000	51000	
					273000	
					273000	
					522500	

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット		
設 立 年	平成 17 年	会員数 (社員数)	45 人 ※役員名簿を添付すること。 法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	① 有 ・ 無		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	① 有 (年 1 回) ・ 無	ホームページ・フェイスブック等	① 有 ・ 無
主な活動内容 と 活 動 実 績	<p>私たちは“生きづらさをサポートする”をコンセプトに活動しています。現在、経済至上の成果主義の中にあつて「自分らしく生きられない状態」が深く習慣化しています。</p> <p>何が私たちを生きづらくさせているのか、その内在化している課題を地域の中で地域の人とともに「見える課題」として、具体的なサポートを行う等、地道な活動をおこなっています。</p> <p>実際の活動は、下記の人権擁護活動です。</p> <ul style="list-style-type: none">① ひきこもり自立支援事業② 子どもの健全育成事業③ コミュニティ再生/人権啓発事業 <p>エンパワメントを主眼に「生きづらさ」を感じている人たちの想いに寄り添い、地域の中で「お互いさま」の関係の中から「みんながワクワク、笑って暮らせる社会」をめざしています。</p> <p>※活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過 去 の 補 助 実 績	令和元年度、2年度、3年度、4年度、5年度、6年度 市民公益活動促進補助金交付		
今 後 の 展 開	今後の活動は、生きづらさを抱える若者の自立支援を重点的に実施。農作業や地域食堂などのイベントをとおし、小さなチャレンジから、段階的な体験を通して自尊感情を高め、継続的な就労が出来うるための自信をつけ社会への復帰をめざします。地域食堂の経営化につなげるにより事業継続の可能性と考えます。また今後は当事者の若者たちが自分たちで作る居場所(当事者会)のアシストをしていきます。		
担 当 者 連 絡 先	ふりがな 担当 者 名 浜 治 弘 子 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：特定非営利活動法人 南大阪サポートネット

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>ひきこもりの若者をはじめ、現代社会で生きづらい人たちといった社会的弱者を地域の人たちみんなで支えることは、ひとつの市民人権啓発活動です。市民を対象としての交流の機会を提供します</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>当法人の活動の主目的でもあり、社会的課題なので継続は必然と考えています。今後もより一層地域資源との連携を図り、要支援者のニーズに対応していけると考えています。そのためにも市民に向けた啓発活動をはじめ、様々な学習の機会を設けており、社会全体で支える仕組みづくりに向けた努力をしています。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>ひきこもりの若者への自立支援事業は2014年から行っており、実施体制、方法、予算配分等は問題ないと考えます。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイディアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>ひきこもりを家族だけの問題と社会から分離するのではなく、地域と共に助け合う“お互いさま”の関係の中で解決しようとする社会包摂的な視点は先駆的な取り組みと考えます。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>地域食堂といった地域に開放した“食を通じた居場所”や食に関するワークショップによる交流を通し収益性の向上を図るとともに、会員数増員を目指します。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>基本は、LINE 公式アカウントやチラシ、SNSでの発信を行うが、当事者への配慮が必要なもの、食に関して注意が必要なものはその時の状況に合わせて告知を行う。事業計画書も年間の流れに沿って書いているので流れを汲みやすくなっている。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>生きづらい若者たちを含む、ひきこもりの現状を正しく多くの人に理解してもらい、地域みんなで支えあう“お互いさま”という温かな関係づくりを行うことが核になっている事業であり、それぞれのできることでのサポートがもらえるように伝える。</p>

様式第1号 (第8条関係)



令和7年 2月 26日

(あて先) 大阪狭山市長

所在地

団体名 特定非営利活動法人

みなみおおさかさぼーとねっと
南大阪サポートネット

代表者氏名 はまじ ひろこ
濱治 弘子



大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及び部門	ひきこもりの若者たちが「EM 廃油石鹸」で未来との循環を作る 入門部門 ・ チャレンジ部門 自立促進部門 (提案型) テーマ型
総事業費	378,500 円
補助対象経費	378,500 円
補助金交付申請額	240,000 円
添付書類	(1)事業計画書 (2)収支予算書 (3)定款、会則又はこれに準ずるもの (※入門部門は不要) (4)団体の概要説明書 (5)その他 ()
※市 使用欄	部門・回数 年 自立促進 部門 4 回
	実績

(別紙1)

団体名 特定非営利活動法人 南大阪サポートネット

事業計画書

1. 事業名 ひきこもりの若者たちが「EM 廃油石鹸」で未来との循環を作る

2. 事業内容・目的

内閣府調査で 15～64 歳までの引きこもりは約 146 万人にのぼり背景には、いじめ、貧困、虐待、DV、発達障がい、精神疾患なども含み様々な問題が複合的に絡んでいるケースが殆どである。解決のモデルケースを提示するのは困難で現在も中々有効なアプローチがなされていない。また 15～34 歳の若年無業者の数は 59 万人になる。ひきこもっている時期から少し社会に関りを持ち出す段階への支援がほとんどなく、拙速に就労支援へと向かっているのが現実である。この時期にはスモールステップを積み重ね、本人の自信の回復と次の段階に進むための様々な機会を作り、歩みだすための丁寧な見守り、寄り添う支援が必要である。この事業はその機会の一つとして当事者と、継続的に研修を受けた支援者が、EM 廃油石鹸と一緒に作り、事業趣旨を理解してくれる人々とのふれあいをさらに増やし、外に出て人と接することで当事者の自己有用感を養えるよう伴走支援を行い、包摂的な社会と一緒に作るきっかけとする。

3. 事業実施期間 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月末日

4. 事業実施場所 To-Villa トピラ (半田 6 丁目 1179)、市内各所訪問

5. 事業対象者 生きづらさを抱える若者、支援ボランティア、市民

6. 参加者見込人数 ◎主催者 6 人 ・ ◎一般 70 人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	スペースわん、翠月庵、スキイマ 大阪狭山市社会福祉協議会等	<u>確定</u> 交渉中 ・ その他
協力・連携等 内容	廃油回収サポート イベント協働運営等、廃油石鹸販売協力、研修サポート	

8. 事業の広報・参加者の募集方法 (市民への周知方法等について書いてください。)

チラシの作成配布 500 部、ひきこもり当事者家族会、社会福祉協議会及び関係機関への配布
ホームページ、SNS、LINE 公式アカウントでの告知

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

【年間スケジュール】

毎月定例 ①廃油石鹸づくり ②会議 (サポートスタッフ)
24 回/年 ①販売委託先訪問 ②石鹸設置先開拓 (サポートスタッフ+ボランティア)
3 回/年 支援者研修

【組織体制】

当法人スタッフを軸にひきこもり当事者、当事者家族会のメンバーをはじめ、当法人事業への支援ボランティア、を組織体制として事業実施を行います。

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- ① 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- ② 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③ 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- ④ その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - ② 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - ⑦ 環境の保全を図る活動
 - (8) 災害救援活動
 - (9) 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - ⑬ 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - ⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

※事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

基本的には参加者自身の意向を尊重する。

室内事業実施時はマスク着用、手指消毒を推奨する。屋外事業の場合は夏場など熱中症の予防と併せて臨機応変に対応する。

室内の場合は参加者人数の考慮や定期的な換気をし、あまり密にならない会場設営をする。

事業参加者に感染予防対策への協力を依頼する。

参加者把握のため、連絡先などの情報を提出してもらい個人情報管理に注意し保管する。

緊急事態宣言などの発令があれば、事業内容の変更または中止も視野に入れてその都度検討する。

(別紙2)

収支予算書

団体名 特定非営利活動法人南大阪サポートネット

収入の部

項目	予算額	内容説明
1. 団体自己負担金	58500 ✓	団体より
2. 市補助金	240000 ✓	
3. 事業収入	50000	EM廃油石鹸売上@100×500個
4. 寄附金・協賛金	30000	家族会「とびら」より
5. その他		
合計	378500 ✓	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	249000 ✓	249000 ✓	
2. 旅費	0	0	
3. 需用費	98000 ✓	98000 ✓	
4. 役務費	2000 ✓	2000 ✓	
5. 委託料	0	0	
6. 使用料及び賃借料			
7. 原材料費	29500 ✓	29500 ✓	
8. その他			
合計	378500 ✓	378500 ✓	

《経費説明資料》

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
1. 報償費	当事者へのサポートスタッフ報償費延べ36回	3,000	36	108000	108000 ✓	
	ボランティア報償費延べ24回	3,000	24	72000	72000 ✓	
	研修会講師謝礼 3回	20,000	3	60000	60000 ✓	
	研修会サポートスタッフ謝礼	3,000	3	9000	9000 ✓	
					249000 ✓	
					249000 ✓	
					378500 ✓	

《経費説明資料》

(別紙2)裏面

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
2. 需用費	EM廃油石鹼づくり衛生消耗品	3,000	1	3,000	3000	
	廃油作り備品 (計量器、製造道具、保管容器等)	10,000	1	10,000	10000	
	事務用消耗品 (印刷用紙、インク、など)	10,000	1	10,000	10000	
	廃油石鹼包装資材	10,000	1	10,000	10000	
	廃油作り用消耗品	5,000	1	5,000	5000	
	広報チラシ・つうしん発行等印刷費	10,000	6	60,000	60000	
3. 役務費	通信運搬費	2,000	1	2,000	2000	
4. 原材料費	苛性ソーダ500g	500	5	2,500	2500	
	EMスーパーセラ発酵C1kg	3,000	3	9,000	9000	
	EM活性液1L	2,800	6	16,800	16800	
	砂糖	200	6	1,200	1200	

頁 計	129500 /	
	129500	
合 計	378500 /	

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット		
設 立 年	平成 17 年	会員数 (社員数)	45 人 ※役員名簿を添付すること。 法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	① 有 ・ 無		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	① 有 (年 1 回) ・ 無	ホームページ ・ フェイスブック等	① 有 ・ 無
主な活動内容 と 活 動 実 績	<p>私たちは“生きづらさをサポートする”をコンセプトに活動しています。 現在、経済至上の成果主義の中にあつて「自分らしく生きられない状態」が深く習慣化しています。 何が私たちを生きづらくさせているのか、その内在化している課題を地域の中で地域の人とともに「見える課題」として、具体的なサポートを行う等、地道な活動をおこなっています。 実際の活動は、下記の人権擁護活動です。 ① ひきこもり自立支援事業 ② 子どもの健全育成事業 ③ コミュニティ再生/人権啓発事業 エンパワメントを主眼に「生きづらさ」を感じている人たちの想いに寄り添い、地域の中で「お互いさま」の関係の中から「みんながワクワク、笑って暮らせる社会」をめざしています。</p> <p>※活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過 去 の 補 助 実 績	令和元年度、2年度、3年度、4年度、5年度、6年度 市民公益活動促進補助金交付		
今 後 の 展 開	今後の活動は、生きづらさを抱える若者の自立支援を重点的に実施。農作業や地域食堂などのイベントをとおし、小さなチャレンジから、段階的な体験を通して自尊心を高め、継続的な就労が出来うるための自信をつけ社会への復帰をめざします。地域食堂の経営化につなげるにより事業継続の可能性と考えます。また今後は当事者の若者たちが自分たちで作る居場所(当事者会)のアシストをしていきます。		
担 当 者 連 絡 先	ふりがな 担当 者 名 浜 治 弘 子 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：特定非営利活動法人 南大阪サポートネット

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>ひきこもりの若者をはじめ、現代社会で生きづらい人たちといった社会的弱者を地域の人たちみんなで支えることは、ひとつの市民人権啓発活動です。市民を対象としての交流の機会を提供します</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>当法人の活動の主目的でもあり、社会的課題なので継続は必然と考えています。今後もより一層地域資源との連携を図り、要支援者のニーズに対応していけると考えています。そのためにも市民に向けた啓発活動をはじめ、様々な学習の機会を設けており、社会全体で支える仕組みづくりに向けた努力をしています。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>ひきこもりの若者への自立支援事業は2014年から行っており、実施体制、方法、予算配分等は問題ないと考えます。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>ひきこもりを家族だけの問題と社会から分離するのではなく、地域と共に助け合う“お互いさま”の関係の中で解決しようとする社会包摂的な視点は先駆的な取り組みと考えます。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>地域食堂といった地域に開放した“食を通じた居場所”や食に関するワークショップによる交流を通し収益性の向上を図るとともに、会員数増員を目指します。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>基本は、LINE公式アカウントやチラシ、SNSでの発信を行うが、当事者への配慮が必要なもの、食に関して注意が必要なものはその時の状況に合わせて告知を行う。事業計画書も年間の流れに沿って書いているので流れを汲みやすくなっている。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>生きづらい若者たちを含む、ひきこもりの現状を正しく多くの人に理解してもらい、地域みんなで支えあう“お互いさま”という温かな関係づくりを行うことが核になっている事業であり、それぞれのできることでのサポートがもらえるように伝える。</p>

令和7年 2月13日

(あて先) 大阪狭山市長



所在地

ふりがな えぬびーお だんたい ぐろーばる・すくーる

団体名 NPO団体 グローバル・スクール

代表者氏名 けんのきだいほる 釘木大治

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称	”歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者憩いの歌声広場」	
及び部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャレンジ部門 ・ 自立促進部門 (提案型・テーマ型) 	
総事業費	791,600円	
補助対象経費	761,600円	
補助金交付申請額	260,000円	
添付書類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他(添付書類は次の通り) グローバル通信、チラシ、活動記録写真、掲載資料のコピー等	
※市	部門・回数	7年 自立促進 部門 3回
使用欄	実績	

(別紙1)

団体名 NPO団体 グローバル・スクール

事業計画書

1 事業名 ”歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者憩いの歌声広場」

2 事業内容・目的

事業の目的

高齢者が心身に疲弊し、孤立、孤独を防ぐためにも、歌の力の継続が必要であり、市の補助金を活用してこの事業を継続することが、100歳時代を迎える時代になったこんにち、毎回参加されている、元気な高齢者も体力の限界、家族の介護、送迎などの問題もありますが、多くの参加者が事業の継続を強く希望しており、歌声広場が高齢者の生きがいになっている。

事業の内容

スクリーンに映し出された、歌詞入りの大画像を見ながら、ピアノ等の生伴奏で文化庁選定の「日本の歌百選」と昭和・平成に流行した歌謡曲・抒情歌の名曲を歌が上手、下手に関係なく発声練習から始めますので、自分の声帯に合わせて、楽しく声を出して全員で合唱しています。

3 事業実施期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

4 事業実施場所 大阪狭山市立コミュニティーセンター 音楽室

5 事業対象者 60歳以上の大阪狭山市在住の男女

6 参加者見込人数 ◎主催者 年間60人 ・ ◎一般 年間 520 人

7 協力・連携等行う団体

団体名	大阪狭山市社会福祉協議会	確定・交渉中・その他
協力・連携等 内 容	社会福祉協議会の「ボランティアだより」に掲載されています。 金剛コミュニティの地方紙とホームページに掲載されています。 年に数回、さやま広報に掲載されています。	

8 事業の広報・参加者の募集方法(市民への周知方法等について書いてください。)

- ★社会福祉協議会の令和6年10月号の「ボランティアだより」に掲載されました。(資料添付)
- ★さやま広報の令和6年9月号に掲載されました。(資料添付)
- ★さやま広報の令和7年2月号に掲載されました。(資料添付)
- ★金剛コミュニティの令和6年6月13日号に掲載されました。(資料添付)
- ★金剛コミュニティの令和7年1月16日号に掲載されました。(資料添付)
- ★行政の協力を得て公共施設にチラシを置くと共に、SNSやホームページで募集しています。

9 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

- ★会場の予約規定に従い、3か月先までに必ず予約をしています。
- ★ピアノ伴奏者には、500曲以上の楽譜を渡していますので、実行日の20日位前までに選曲リストを渡し練習に励んで頂いています。
- ★IT技術者は、選曲リストに基づいて、パワーポイントを使って事前に歌詞を作成しています。
- ★組織は代表者、ピアニスト、IT技術者、事務員、有料ボランティアで運営しています。

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ.大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- (1)市民公益活動団体間の連携を図る事業
- (2)新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- ④その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ.特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- ①保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - (2)社会教育の推進を図る活動
 - ③まちづくりの推進を図る活動
 - (4)観光の振興を図る活動
 - (5)農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - ⑥学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7)環境の保全を図る活動
 - (8)災害救援活動
 - (9)地域安全活動
 - (10)人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11)国際協力の活動
 - (12)男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - (13)子どもの健全育成を図る活動
 - (14)情報化社会の発展を図る活動
 - (15)科学技術の振興を図る活動
 - (16)経済活動の活性化を図る活動
 - (17)職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18)消費者の保護を図る活動
 - ⑨前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20)前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

(別紙2)

収支予算書

団体名 NPO団体 グローバル・スクール

収入の部		
項目	予算額	内容説明
1. 団体自己負担金	¥11,600	自己資金
2. 市補助金	¥260,000	市民公益活動補助金希望額
3. 事業収入	¥520,000	参加者 520人x1,000円
4. 寄附金・協賛金		
5. その他		
合計	¥791,600	

支出の部		(単位:円)	
項目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	¥552,000	¥552,000	¥0
2. 旅費	¥0	¥0	¥0
3. 需用費	¥30,000	¥30,000	¥0
4. 役務費	¥80,000	¥50,000	¥30,000
5. 委託料	¥72,000	¥72,000	¥0
6. 使用料及び賃借料	¥57,600	¥57,600	¥0
7. 原材料費			
8. その他			
合計	¥791,600	¥761,600	¥30,000

《経費説明資料》

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
1. 報償費	講師謝礼 ピアノ伴奏者 (大阪音楽大学卒業出身者)	10,000	12	¥120,000	¥120,000	¥0
1. 報償費	講師謝礼 ピアノ伴奏者 (ヤマハエレクトーン講師,鍵盤ハーモニカ講師)	10,000	12	¥120,000	¥120,000	¥0
1. 報償費	謝礼 IT技術者 PCによるプロジェクターの資料作成、設営、広報等の資料作成	5,000	24	¥120,000	¥120,000	¥0
1. 報償費	謝礼 ソングリーダー 指揮、司会、進行及び安全確認	5,000	24	¥120,000	¥120,000	¥0
1. 報償費	謝礼 スタッフ 受付で参加費の受領及び会場の椅子等の整備	3,000	24	¥72,000	¥72,000	¥0
					¥552,000	¥0
				頁計	¥552,000	
				合計	¥791,600	

団体概要書

団体名	NPO団体 グローバル・スクール		
設立年	平成17年	会員数 63人 (社員数)	★役員名簿を添付すること。 ★ 法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	有 ・ 無		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有(年 24 回)・無	ホームページ・フェイスブック等	有 ・ 無
	「グローバル通信」を添付		https://koreisyautagoe.seesaa.net/
主な活動内容 と活動実績	<p>♪平成7年1月 大阪狭山混声合唱団の設立から、初代の団長を10数年間担当し、会社の定年を期に退団しました。</p> <p>♪平成9年12月から「一万人の第九」に大阪狭山市の代表として10年連続参加のお世話をし、多くの参加者から高い評価を受けました。</p> <p>♪平成17年12月 非営利活動団体グローバル・スクールを設立し、「シニアの歌声広場」と「シニアの健康麻雀」を運営していましたが、コロナ禍の非常事態宣言の終了後、令和3年7月18日でシニア健康麻雀」の事業は廃業しました。</p> <p>♪グローバル・スクールの紹介は支援センター発行のWEB「しみんのちから」の団体番号30に掲載されています。</p> <p>♪平成29年10月 大阪狭山市制30周年の記念事業として、感謝状を受けました。</p> <p>♪令和3年11月 大阪府から15年間の活動を高く評価され表彰状を受けました。</p> <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過去の補助 実績	<p>♪財団法人 大阪狭山市文化振興事業団 2008年11月 費用は覚書通り双方で負担 市民企画の募集に採用され、「1000人で歌う 大阪狭山市歌と日本の歌百選」の共催事業としてさやか大ホールで実施しました。</p> <p>♪大阪狭山市福祉協議会 平成31年4月 50,000円</p> <p>♪公益財団法人 大同生命厚生事業団 令和2年4月 100,000円</p> <p>♪持続化給付金 令和2年度 1,000,000円</p> <p>♪月次支援金 令和3年度 736,000円</p> <p>♪事業復活支援金 令和3年度 219,250円</p> <p>♪大阪狭山市市民公益活動促進補助金 令和4年度 243,000円</p> <p>♪大阪狭山市福祉協議会 令和5年度 50,000円</p> <p>♪大阪狭山市市民公益活動促進補助金 令和6年度 280,000円 実行中</p>		
今後の展開	<p>♪「シニアの歌声広場」も20年目を迎え、参加するメンバーも高齢になりましたが、合唱経験者などが歌う場所がなくなっているため、コロナが5類に変更になったのを契機に「高齢者憩いの歌声広場」に名称を変更して、チラシを作成し公共施設などに置いてもらい参加者確保の活動をしています。</p> <p>♪社会福祉協議会の「ボランティアだより」「さやま広報」「金剛コミュニティの広報」に掲載して頂き、またSNSを通じて参加者の増加に活用しています。</p> <p>♪この事業の後継者が伴奏者の湯浅真由美に決まり、申し込みの確保から引継ぎ、施設で活動する時のキーボード等は持参しますが、電源がないところで演奏することを考慮して、鍵盤ハーモニカの講師の資格を取りました。高齢者を対象にした事業の為、昨年救急車のお世話になりましたので、今年は安全対策を強化し、スタッフは講習を受け参加者が安心して歌うことができ、歌を楽しみ、喜んでいただける歌声広場にしていきます。</p>		
担当者連絡先	<p>ふりがな けんのき だいほる 担当者名 釦木 大治 住所 〒 電話 FAX E-mail</p>		

申請団体自己PR票

申請団体名：NPO団体 グローバル・スクール

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が、得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>60歳以上を対象にした事業を展開してきましたが、100歳時代になった現在、健康で元気な高齢者の発散する場所が必要である為に90歳以上の高齢者も参加されており、誰でも気軽に参加できるようにしています。市民を対象にしていますが、市外の方もきています。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が、一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>今後高齢者が増加しますので、このような事業は高齢者施設でも需要が多くありますので、施設にピアノ等の楽器がなくても、電源がなくても、鍵盤ハーモニカの講師の資格を湯浅先生が取得しましたので、高齢者施設で演奏や伴奏で合唱ができます。この事業は施設の人材不足にも役立つと思います。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか</p>	<p>施設が休館にならない限り、毎月第2、第4土曜日は必ずオープンしています。20年間でコロナ禍で非常事態宣言が発令されて、施設が休館になった以外、一度も休む事はありませんでした。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>高齢者の孤独、孤立化を防ぐ為、歌の力で健康で日々元気に暮らせるようサポートしています。高齢者が参加したくても、会場までの送迎が家庭の事情で厳しい現状を経験していますので、鍵盤ハーモニカを活用して歌の力で頑張ります。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保(会費・寄付金・協賛金・参加費等)に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>収支予算書のとおり、参加費を頂き運営していますがコロナ禍で減少数は5割以上でしたが5種に変更になったので、金剛コミュニティやさやま広報やSNSで参加者を増やし、コロナ禍前の6割位まで増やすことができました。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動(ポスターやちらし,SNS等)を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>チラシは塚、河内長野、富田林の公共施設にしています。SNSは(旧)Facebook, Twitter、ホームページ、ブログで紹介しています。特にFacebookは毎回の活動日程を、活動日より1週間ほど前に連絡しています。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確につ伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>パワーポイントを使い、写真を多く使い、わかりやすく説明します。50代の後継者が出来たので、前向きに活動を進めていきたいと決意しています。</p>

様式第1号 (第8条関係)



7年2月18日

(あて先) 大阪狭山市長

所在地
 団体名 おとな (2人玉) み かい
 大人の本気見せた3会
 代表者氏名 たいもと ちえこ
 竹本 千恵子

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及び部門	こどもまち、く天国 ・チャレンジ部門 ・自立促進部門 (提案型)・テーマ型)
総事業費	¥212,249 円
補助対象経費	¥187,249 円
補助金交付申請額	93,000 円
添付書類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他 ()
※市 使用欄	部門・回数 令和7年 自立促進 部門 2回 実績

(別紙1)

団体名 大人の本気見せたる会

事業計画書

1. 事業名 こどもまちつく天国

2. 事業内容・目的

ここでのみ使用できる通貨を使用して、自分たちが考え作った商品を
売買したり、やりたい仕事を見つけて自分なりに取り組み、子どもだけの王国を作っていくイ
ベントの主催。保護者は原則立ち入り禁止。
「こどもの主体性と創造力の育成」にフォーカスし、どんな環境や立場の子どもも
自分で考え、挑戦と失敗を経験し、生きていくチカラを育むための、育ち合いの場所を作るこ
とを目的としており、安心してチャレンジをし、失敗をする場所、安心安全に自分自身の考え
や感情を表現する場をつくりたいと考えております。

3. 事業実施期間 2025年4月1日～2025年9月30日

4. 事業実施場所 さやかホール（コンベンションホール・リハ室1）

5. 事業対象者 小学生・中学生

6. 参加者見込人数 ◎主催者 4 人 ・ ◎一般 70 人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	狭山中学校区まちづくり円卓会議・防災レ ンジャー・若者自立支援センターのびの び・NPO 法人子育てネットワーク共育の 森 どんぐり	確定 ・ <u>交渉中</u> ・ その他
協力・連携等 内 容	安全管理や救急対応、当日スタッフでの参加、こどもへの声掛けや寄 り添い方などのレクチャー。	

8. 事業の広報・参加者の募集方法（市民への周知方法等について書いてください。）

チラシの配布、Instagramでの発信、口コミ。

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

- ・2024年4月 当日タイムスケジュール作成、SNS発信
- ・5月 チラシ作成、各所にチラシ設置配布依頼、ボランティアスタッフ募集開始
- ・6月 協力団体とミーティング、ボランティアスタッフ募集を各団体へ行っていく
参加者募集開始
- ・7月 外部講師による研修(1回目)、必要物品決定、会場と打ち合わせ、スタッフミーティング
- ・8月 外部講師による研修(2回目)、スタッフミーティング、必要物品購入
- ・9月 外部講師による研修(3回目)、参加者への最終案内、当日の飾品等の準備、
ボランティアスタッフと最終の流れを確認する。
終了後、ボランティアスタッフと振り返り、今後の開催について話し合う

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- (1) 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- (2) 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- (3) 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- ④ (4) その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - ② (2) 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - ⑥ (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7) 環境の保全を図る活動
 - (8) 災害救援活動
 - (9) 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - ⑬ (13) 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

手洗いの実施、消毒液の設置、当日参加者は自宅での検温実施呼びかけ
体調不良者には参加を見送っていただくよう声掛け

(別紙2)

収 支 予 算 書

団体名 大人の本氣見せたら会

収入の部

項 目	予算額	内 容 説 明
1. 団体自己負担金	1249	
2. 市補助金	93000	
3. 事業収入	0	
4. 寄附金・協賛金	118000	寄付金・協賛金を見込み
5. その他		
合 計	212249	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	30000	30000	0
2. 旅費	30000	30000	0
3. 需用費	42649	42649	0
4. 役務費	3000	3000	0
5. 委託料	0	0	0
6. 使用料及び賃借料	106600	106600	0
7. 原材料費	0	0	0
8. その他	0	0	0
合 計	212249	212249	0

《経費説明資料》

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
1. 報償費	講師代	30,000	1	30,000	30,000	0
2. 旅費	ボランティア交通費	30,000	1	30,000	30,000	0
3. 需用費	カラーペンセット	1,500	5	7,500	7,500	0
3. 需用費	木工用ボンド	714	1	714	714	0
3. 需用費	セロファンテープ	1,022	2	2,044	2,044	0
					70,258	0
				頁 計	70,258	
				合 計	212249	

《経費説明資料》

(別紙2)裏面

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
3. 需用費	ガムテープ	186	30	5,580	5,580	0
3. 需用費	画用紙(四つ切)	4,398	2	8,796	8,796	0
3. 需用費	折り紙	153	5	765	765	0
3. 需用費	わりばし	110	5	550	550	0
3. 需用費	輪ゴム	110	1	110	110	0
3. 需用費	紙コップ	110	20	2,200	2,200	0
3. 需用費	紙皿	110	10	1,100	1,100	0
3. 需用費	モール	1,200	1	1,200	1,200	0
3. 需用費	ストロー	110	3	330	330	0
3. 需用費	ポスター印刷	1,030	1	1,030	1,030	0
3. 需用費	チラシ印刷	8,030	1	8,030	8,030	0
3. 需用費	救急セット	2,000	1	2,000	2,000	0
3. 需用費	飲料水(熱中症対策)	350	2	700	700	0
4. 役務費	イベント保険料	30	100	3000	3000	0
6. 使用料及び賃借料	駐車場	500	10	5000	5000	0
6. 使用料及び賃借料	サヤカホール(コンベンションホール)前日	3900	1	3900	3900	0
6. 使用料及び賃借料	サヤカホール(コンベンションホール)当日	55000	1	55000	55000	0
					99291	0
					頁 計	99291
					合 計	212249

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	大人の本氣見せたる会		
設 立 年	2024 年	会員数 (社員数)	4 人 ★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	有 ・ (無)		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ (無)	ホームページ・フェイスブック等	(有) ・ 無
主な活動内容 と活動実績	<ul style="list-style-type: none">・東文化会館にて講師を招致し 子育てセミナーを行うと同時に、子育て世代の横の つながりをつくる(約 30 名参加)・団体のロゴ作成・団体メンバーでの定期的なミーティング・さやま池まつりワークショップ部会にてボランティア兼出店・さやりんベースでの模擬店出店 2 回・ゴミ拾い、さやま池クリーンアクションへの参加・わくフェスでの模擬店出店・市子連主催のこども文化祭スタッフ参加・市民公益活動補助制度を使用し 2024 年 9 月 14 日に、こどもまちつく天国 11 月 16 日に、でっかい背中フェスタを実施。・「夢見る絵食」の自主上映を開催 <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過去の補助 過去の補助実績 実 績	令和 5 年わくわく市民公益活動団体スタートアップ支援補助金 市民公益活動補助制度令和 6 年自立促進部門提案型 市民公益活動補助制度令和 6 年自立促進部門テーマ型		
今後の展開 今後の展開	子どもから大人まで幅広い世代の人が、本気で何かに 取り組んだり、楽しむことで地域の活性化を目指す。 また、大人の本氣の背中を青少年や子どもたちに 見せていくことや、失敗のできる安心安全な場を提供することで 子どもの主体性・創造性を育み、やりたいことを自由に表現出来る 社会を創ること。		
担当者連絡先	竹本千恵子 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：大人の本氣見せたる会

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>子育て世代だけでなく、青少年や高齢者までが本気で楽しめるイベントを継続的に行う。イベントを通じて、個々の主体性や創造性を育み、多世代の市民が交流できる機会を作る。 また、そのように地域社会との繋がりを得た人たちが地域に増えていくことで、一市民としての当事者意識を持つ人が増え、市民活動がより活発となり、当市の活性化に繋がる。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>団体設立以前から、大規模な運動会や宿泊を伴うものを含め、多くのイベントの企画、主催、運営、集客を行ってきた。 団体立ち上げの際にも、対象者を子育て世代に絞った子育て講座を開催し、多くの賛同を得た。 また昨年度の市民活動促進補助金を使用した2つのイベントでは、地域の多世代交流が盛んに行われ、参加者アンケートにおいても非常に満足度が高かったと思われる内容の回答が多数得られた。 今後もイベントを通じて更に多数の市民や団体を巻き込みながら事業を拡大発展させていきたい。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>不特定多数の参加者を集めての開催であることから、安全管理の徹底、団体保険の加入、救護研修や避難時の誘導方法などのシミュレーションを行う。また、昨年同様、オンラインによるボランティアスタッフとの研修や打ち合わせも行う。予算について、昨年度は初めての開催で計画時とのズレが目立つ結果となったが、今年度はその経験と反省を生かし、予算計画の作成にあたった。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>子どものためだけでなく、まずは私たち大人が本気で生きる姿を、若い世代へ見せていく。 今後、子を持つ世代にも、自分の人生を生きることの大切さを伝え、つなげていく。 青少年のボランティアも募っていくことで若者の居場所づくりにも寄与したい。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>(収支予算書のとおり) 参加費は無料。寄付金・協賛金あり。 地域やSNSで様々な活動団体とつながることで、協賛や集客を行っている。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>事業計画書「8・事業の広報・参加者の募集方法」とおり、SNS(Instagram)にて活動内容を報告。その他イベント開催ごとに関係するものをSNSやチラシなどで随時情報提供していく。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>私たちの目的は、当市で暮らす皆さんに笑顔になってもらうこと。当会の名の通り、大人が本気で取り組めば、どんな姿も格好良い!! 転んでも失敗しても大丈夫! 本気で生きる、本気で楽しむ大人の背中を未来につなげ、子どもたちの自主性を育てていきたい。 今後も継続的に取り組み、多くの人達を笑顔にしていきたい。</p>

様式第1号 (第8条関係)



7 年 2 月 18 日

(あて先) 大阪狭山市長

所在地
 団 体 名
 代表者氏名

みな (みきみ) かい
 大人の本気貝せたく会
 代表者氏名
 竹本 千恵子

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及 び 部 門	こゝかい 背 中 フェスタ ・チャレンジ部門 ・自立促進部門 (提案型・ <u>テーマ型</u>)
総 事 業 費	174,789 円
補 助 対 象 経 費	174,789 円
補助金交付申請額	116,000 円
添 付 書 類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他 ()
※ 市 使用欄	部門・回数 令和7 年 自立促進 部門 2 回
	実 績

(別紙1)

団体名 大人の本氣見せたる会

事業計画書

1. 事業名 でっかい背中フェスタ

2. 事業内容・目的

大人が本気で取り組む、大人が主役の運動会の主催。
目的は、日々同じことの繰り返しで毎日を何となく生きている大人達にキラキラを取り戻してほしい。思いっきり身体を運かし汗を流すことで、ストレスを発散し、純粋に今を楽しむことを思い出してもらおう。
そして、団体名の通り、本気で生きる大人はカッコイイ!!ということ、未来の大人である今の子ども達に見せていくこと。
転んだり失敗しても良い!!本気・全力を出すということは最高に格好良いんやで!!という大人の背中を見て知ってもらうこと。

3. 事業実施期間 2025年4月1日～2025年11月30日

4. 事業実施場所 さやまヒルズ（旧手塚山学院大学狭山キャンパス）体育館

5. 事業対象者 全ての人

6. 参加者見込人数 ◎主催者 4 人 ・◎一般 150 人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	狭山中学校区まちづくり円卓会議・防災レンジャー・若者自立支援センターのびのび・森田鍼灸整骨マッサージ院	確定 ・ <u>交渉中</u> ・ その他
協力・連携等内	安全管理や救急対応、当日スタッフでの参加など。	

8. 事業の広報・参加者の募集方法（市民への周知方法等について書いてください。）

チラシの配布、Instagramでの発信、口コミ。

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

- ・2025年4月 当日タイムスケジュール作成、SNS発信・申込フォームの作成
- ・5月 チラシ作成、各所にチラシ設置配布依頼申込開始、キャンセルポリシー作成
- ・6月 協力団体とミーティング、ボランティアスタッフ募集、レンタル用品確定、協賛募集開始
- ・7月 外部講師による研修(1回目)、
- ・8月 外部講師による研修(2回目)、保険加入完了、参加者の個人情報の把握、
- ・9月 トラブルやケガ時のシミュレーション、外部講師による研修(3回目)
- ・10月 タイムスケジュール・当日の運びを最終確認、協力団体とミーティング
必要物品購入、会場と打ち合わせ、スタッフ会議
- ・11月 参加者への最終案内・駐車場の確保、会場掃除・当日の装飾準備と確認、荷物運搬(前日)
終了後、振り返りと次回開催に向けてのミーティング

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- (1) 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- (2) 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- (3) 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- (4) その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - (2) 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7) 環境の保全を図る活動
 - (8) 災害救援活動
 - (9) 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - (13) 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

手洗いの実施、消毒液の設置、当日参加者は自宅での検温実施呼びかけ
体調不良者には参加を見送っていただくよう声掛け

(別紙2)

収 支 予 算 書

団体名 大人の本氣見せたら会

(単位:円)

収入の部		
項 目	予算額	内 容 説 明
1. 団体自己負担金	789	
2. 市補助金	116000	
3. 事業収入	0	
4. 寄附金・協賛金	58000	寄付金・協賛金を見込み
5. その他	0	
合 計	174789	

支出の部			
項 目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	30000	30000	0
2. 旅費	0	0	0
3. 需用費	44339	44339	0
4. 役務費	22500	22500	0
5. 委託料	10000	10000	0
6. 使用料及び賃借料	67950	67950	0
7. 原材料費	0	0	0
8. その他	0	0	0
合 計	174789	174789	

《経費説明資料》

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費	
1. 報償費	講師代	30,000	1	30,000	30,000	0	
3. 需用費	カラーテープ	2,500	1	2,500	2,500	0	
3. 需用費	熱中症対策スポーツ飲料	4,529	1	4,529	4,529	0	
3. 需用費	養生テープ	200	5	1,000	1,000	0	
3. 需用費	チラシ印刷	8,030	1	8,030	8,030	0	
					頁 計	46,059	0
						46,059	
					合 計	46,059	

《経費説明資料》

(別紙2)裏面

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
3. 需用費	ポスター印刷	1,880	1	1,880	1,880	0
3. 需用費	画用紙	200	2	400	400	0
3. 需用費	救急セット	2,000	1	2,000	2,000	0
3. 需用費	プリンターインクカートリッジ	8,000	3	24,000	24,000	0
4. 役務費	イベント保険料	150	150	22,500	22,500	0
5. 委託料	レンタル用品配送費	5,000	1	5,000	5,000	0
5. 委託料	レンタル用品回収費	5,000	1	5,000	5,000	0
6. 使用料及び貸借料	綱引きの綱レンタル	25,000	1	25,000	25,000	0
6. 使用料及び貸借料	バトンレンタル	2,200	1	2,200	2,200	0
6. 使用料及び貸借料	音響セットレンタル	24,750	1	24,750	24,750	0
6. 使用料及び貸借料	さやまヒルズ使用料	16,000	1	16,000	16,000	0
					128730	0
					128730	
頁 計						
合 計					174789	

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	大人の本氣見せたら会		
設 立 年	2024 年	会員数 (社員数)	4 人 <small>★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。</small>
法人格の有無	有 ・ (無)		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ (無)	ホームページ・フェイスブック等	(有) ・ 無
主な活動内容 と活動実績	<ul style="list-style-type: none">・ 東文化会館にて講師を招致し 子育てセミナーを行うと同時に、子育て世代の横の つながりをつくる(約 30 名参加)・ 団体のロゴ作成・ 団体メンバーでの定期的なミーティング・ さやま池まつりワークショップ部会にてボランティア兼出店・ さやりんベースでの模擬店出店 2 回・ ゴミ拾い、さやま池クリーンアクションへの参加・ わくフェスでの模擬店出店・ 市子連主催のこども文化祭スタッフ参加・ 市民公益活動補助制度を使用し 2024 年 9 月 14 日に、こどもちつく天国 11 月 16 日に、でっかい背中フェスタを実施。・ 「夢見る給食」の自主上映を開催 <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過去の補助 過去の補助実績 実 績	令和 5 年わくわく市民公益活動団体スタートアップ支援補助金 市民公益活動補助制度令和 6 年自立促進部門提案型 市民公益活動補助制度令和 6 年自立促進部門テーマ型		
今後の展開 今後の展開	子どもから大人まで幅広い世代の人が、本気で何かに取り組みだり、楽しむことで地域の活性化を目指す。 また、大人の本氣の背中を青少年や子どもたちに 見せていくことや、失敗のできる安心安全な場を提供することで 子どもの主体性・創造性を育み、やりたいことを自由に表現出来る 社会を創ること。		
担当者連絡先	竹本千恵子 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：大人の本氣見せたる会

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>子育て世代だけでなく、青少年や高齢者までが本気で楽しめるイベントを継続的に行う。イベントを通じて、個々の主体性や創造性を育み、多世代の市民が交流できる機会を作る。 また、そのように地域社会との繋がりを得た人たちが地域に増えていくことで、一市民としての当事者意識を持つ人が増え、市民活動がより活発となり、当市の活性化に繋がる。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>団体設立以前から、大規模な運動会や宿泊を伴うものを含め、多くのイベントの企画、主催、運営、集客を行ってきた。 団体立ち上げの際にも、対象者を子育て世代に絞った子育て講座を開催し、多くの賛同を得た。 また昨年度の市民活動促進補助金を使用した2つのイベントでは、地域の多世代交流が盛んに行われ、参加者アンケートにおいても非常に満足度が高かったと思われる内容の回答が多数得られた。 今後もイベントを通じて更に多数の市民や団体を巻き込みながら事業を拡大発展させていきたい。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>不特定多数の参加者を集めての開催であることから、安全管理の徹底、団体保険の加入、救護研修や避難時の誘導方法などのシミュレーションを行う。また、昨年同様、オンラインによるボランティアスタッフとの研修や打ち合わせも行う。予算について、昨年度は初めての開催で計画時とのズレが目立つ結果となったが、今年度はその経験と反省を生かし、予算計画の作成にあたった。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>子どものためだけでなく、まずは私たち大人が本気で生きる姿を、若い世代へ見せていく。今後、子を持つ世代にも、自分の人生を生きることの大切さを伝え、つなげていく。 青少年のボランティアも募っていくことで若者の居場所づくりにも寄与したい。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>(収支予算書のとおり) 参加費は無料。寄付金・協賛金あり。 地域やSNSで様々な活動団体とつながることで、協賛や集客を行っている。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>事業計画書「8・事業の広報・参加者の募集方法」のとおり、SNS(Instagram)にて活動内容を報告。その他イベント開催ごとに関係するものをSNSやチラシなどで随時情報提供していく。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>私たちの目的は、当市で暮らす皆さんに笑顔になってもらうこと。当会の名の通り、大人が本気で取り組めば、どんな姿も格好良い!! 転んでも失敗しても大丈夫! 本気で生きる、本気で楽しむ大人の背中を未来につなげ、子どもたちの自主性を育てていきたい。 今後も継続的に取り組み、多くの人達を笑顔にしていきたい。</p>

様式第1号（第8条関係）



令和7年 2月25日

（あて先）大阪狭山市長

所在地

ふりがな おおさかさやまし けんきゅうかい
団体名 大阪狭山市まちづくり研究会
ふりがな なかの まなぶ
代表者氏名 中野 学

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及び 部 門	オレンジいっぱいプロジェクト in 大阪狭山 ・チャレンジ部門	
総 事 業 費	150,000円	
補 助 対 象 経 費	150,000円	
補助金交付申請額	100,000円	
添 付 書 類	① 事業計画書 ② 収支予算書 ③ 定款、会則又はこれに準ずるもの ④ 団体の概要説明書 ⑤ その他（ ）	
※ 市 使用欄	部門・回数	年 ¹¹ チャレンジ 部門 / 回
	実 績	

(別紙1)

団体名 大阪狭山市まちづくり研究会

事業計画書

1. 事業名 オレンジいっぱいプロジェクト in 大阪狭山

2. 事業内容・目的

日本の高齢化が進む中、認知症患者の数は急増しており、2040年には1,200万人に達すると予測されています。しかし、医療・保健・福祉の連携が十分に機能しておらず、人材不足も深刻です。また、地域における認知症への理解度には差があり、認知症に関する話題すら避けられる状況も見られます。

本事業では、認知症への関心を高め、正しい理解を広めることを目的に、大阪狭山市内で「オレンジガーデニングプロジェクト」を実施します。認知症の象徴であるオレンジ色の花を市内に咲かせることで、認知症について考える機会を創出し、地域全体の意識向上を図ります。

また、本プロジェクトを通じて、認知症の方やそのご家族が社会とつながる場を提供します。花の世話をすることで、日々の活動量が増え、健康維持にも寄与します。さらに、地域の住民や関係団体と協力しながら、多世代が交流できる環境を整備し、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

3. 事業実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日

4. 事業実施場所 大阪狭山市内全域

5. 事業対象者 大阪狭山市民 及び 市民活動団体等

6. 参加者見込人数 ◎主催者 30 人 ・ ◎一般 200 人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	大阪狭山市高齢者福祉グループ 大阪狭山市地域包括支援センター 大阪狭山市社会福祉協議会 高齢者施設・店舗・事業所など	確定 ・ 交渉中 ・ その他
協力・連携等 内容	広報啓発活動、連絡先窓口、苗や花の育成	

8. 事業の広報・参加者の募集方法（市民への周知方法等について書いてください。）

福祉関係者、施設、店舗、事業所、学校などへ訪問し、協力の依頼。
大阪狭山市高齢介護課、包括支援センターの広報活動。
イベント出店、周知活動など。

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

- 各店舗、施設、事業所への協力依頼。狭山池まつり出店ブースの準備
狭山池まつり（4月）当日 オレンジの花の種、ステッカー、ポップなどを配りオレンジガーデンニングプロジェクトへの参加を依頼、パネル展示にて認知症啓発活動をおこなう。
- オレンジの花を育て、認知症の啓発を行う店舗、事業者・施設などへの協力依頼。
（5月～8月）
- 認知症月間における啓発活動。5月～8月の活動実績の発表会、これから参加する団体や市民向けの説明会イベントを地域包括支援センターと共催。（9月）
- 来年の9月認知症月間に向けて継続したオレンジガーデンニングプロジェクトの趣旨説明、花の種、ステッカー、ポップなどをイベントで配布。
（10月～3月）

大阪狭山市まちづくり研究会福祉・介護分科会リーダーを中心に各会員が活動を行う。

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- ① 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- ② 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③ 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- ④ その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- ① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - ② 社会教育の推進を図る活動
 - ③ まちづくりの推進を図る活動
 - ④ 観光の振興を図る活動
 - ⑤ 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - ⑥ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - ⑦ 環境の保全を図る活動
 - ⑧ 災害救援活動
 - ⑨ 地域安全活動
 - ⑩ 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - ⑪ 国際協力の活動
 - ⑫ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - ⑬ 子どもの健全育成を図る活動
 - ⑭ 情報化社会の発展を図る活動
 - ⑮ 科学技術の振興を図る活動
 - ⑯ 経済活動の活性化を図る活動
 - ⑰ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - ⑱ 消費者の保護を図る活動
 - ⑲ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - ⑳ 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

手洗いの徹底

- 参加者に手洗いを促進します。

適切な距離の確保

- 大人数での密集を避け、時間帯を分けて参加できる仕組みを作ります。

マスクの着用（状況に応じて）

- 屋外の活動で距離が確保できる場合は、マスク着用は任意とします。
- 近距離での作業や会話が必要な場合はマスクの着用を推奨します。

体調管理の徹底

- 事前に参加者へ体調確認（発熱・咳・倦怠感の有無など）を行います
- 体調不良の方には参加を控えていただきます。

(別紙2)

収 支 予 算 書

団体名 大阪狭山市まちづくり研究会

収入の部		
項 目	予算額	内 容 説 明
1. 団体自己負担金	20000	自己資金20000円
2. 市補助金	100000	市民公益活動補助金希望額
3. 事業収入	0	
4. 寄附金・協賛金	30000	協賛金 3000円×10口
5. その他	0	
合 計	150000	

支出の部			
項 目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	0	0	0
2. 旅費	10000	10000	0
3. 需用費	87000	87000	0
4. 役務費	0	0	0
5. 委託料	0	0	0
6. 使用料及び賃借料	8000	8000	0
7. 原材料費	45000	45000	0
8. その他	0	0	0
合 計	150000	150000	0

(単位:円)

《経費説明資料》

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
2. 旅費	スタッフ謝礼(交通費)	1000	10	10000	10000	0
3. 需用費	屋外用ステッカー製作費	47000	1	47000	47000	0
	三角柱ポップ製作費	10000	1	10000	10000	0
	チラシ製作費	3000	1	3000	3000	0
	プラ板	1000	25	25000	25000	0
				頁 計	95000	0
				合 計	95000	
					150000	

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	大阪狭山市まちづくり研究会		
設 立 年	平成 19 年	会員数 (社員数)	30人 ★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	有 ・ 無		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ 無	ホームページ・フェイスブック等	有 ・ 無
主な活動内容 と活動実績	<p>活動内容 本研究会は“住み続けたいまちをつくる”ための企画を立案し、行政や諸団体等に働きかけて実践することを目的として設立され、現在は下記の4つの分科会に分かれて会員が活動を行っています。</p> <p>○環境関連分科会 ○防災・防犯関連分科会 ○都市計画・行財政関連分科会 ○福祉・介護関連分科会</p> <p>活動実績 行政との協働による住宅用火災警報器の取り付け普及 大阪狭山市ごみ減量推進対策会議の設立・活動の参加</p> <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過去の補助 実績	なし		
今後の展開	<p>若い世代の意見を積極的に取り入れ、多様な視点から未来の大阪狭山市のまちづくりを進めます。</p> <p>4分科会の活動をさらに活性化させ、市民の声を反映した具体的な提案を行うことを目指します。</p> <p>また、地域イベントやワークショップを通じて市民参加を促し、世代を超えた交流の場を広げます。</p>		
担当者連絡先	ふりがな 伊藤 万裕子 担当者名 伊藤 万裕子 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：大阪狭山市まちづくり研究会

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性</p> <p>広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>オレンジいっぱいプロジェクトは、認知症の啓発を目的とし、オレンジの花を育てる活動は地域住民が関わりやすい内容となっています。認知症の方やその家族に対する地域の支援が強化され、地域全体の共生社会の実現に貢献します。認知症の理解不足や孤立を防ぐことは、地域の大きな課題の一つです。本事業は、住民同士のつながりを強化し、認知症の人たちが安心して暮らせる地域づくりに貢献します。</p>
<p>② 発展性</p> <p>団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>このプロジェクトは、認知症啓発と地域づくりを目的とし、市民が主体的に行われる活動です。園芸活動は継続しやすく、育てた花を活用したイベントや啓発活動へ発展させることが可能であり、長期的な取り組みとして定着する可能性が高いです。</p> <p>園芸活動は、地域住民、福祉団体、学校、企業多様な主体が関わるため、協力関係を可能にしやすい事業です。共同で花壇の整備やイベントを企画することで、異なる団体がつながる機会が増え、地域全体の連携が促進されます。</p>
<p>③ 計画性</p> <p>事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>現実的なタイムラインが設定し、認知症月間に向けた花の育成を計画します。</p> <p>参加者が理解しやすく、実践できる内容が提供されるため、啓発活動と栽培が両立可能です。</p> <p>各メンバーの役割が明確にし、プロジェクトの進行に必要な協力体制が確保されています。各項目の費用を具体的にし、優先事項に基づいた予算配分を行うため、効率的な資金運用が期待できます。</p>
<p>④ 先駆性</p> <p>団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を用いることで、視覚的に分かりやすく、地域住民の関心を引きやすい工夫がされています。</p> <p>新たな視点から提案されたプロジェクトであり、啓発活動とガーデニングを融合させた独自のアプローチが特徴です。</p> <p>認知症の啓発活動を花の栽培という日常的な活動に組み込むことで、参加者が楽しみながら学べる環境を提供し、地域全体に啓発の効果を広げる発想が新しいと考えます。</p>

<p>⑤ 自立目標度</p> <p>補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>補助金に加え、寄付金、協賛金など自己努力による資金確保を行います。</p> <p>プロジェクトに興味がある地域住民や企業からの寄付、協賛金など多様な資金源が確保し、補助金に頼り過ぎない安定した資金運用を実現していきます。</p> <p>毎年の認知症月間に向けた花の育成スケジュールや恒例イベントの実施を計画し、地域住民の関心と参加を持続させる仕組みを整えます。また、フィードバックを活用して次年度の計画に反映させる取り組みも行ないます。</p>
<p>⑥ 情報開示度</p> <p>事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>視覚的に分かりやすいオレンジ色を多用したポスターやチラシ、SNSでの情報発信により、広く地域住民にアプローチする予定です。またイベントなどで花の種や苗、ステッカーを配布することにより、参加者の関心を引き、認知度を高めていきます。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション</p> <p>事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>具体的な目標、方法、スケジュールを明確に提示し、オレンジ色の花を通じた認知症啓発活動の重要性と意義を伝えます。</p> <p>綿密な計画と積極的な広報活動、メンバーの熱意を示し、参加者や地域住民と一緒にプロジェクトを成功させようという情熱が感じられるよう伝えます。</p>

様式第1号 (第8条関係)



令和7年2月28日

(あて先) 大阪狭山市長

所在地

ふりがな おおさかさやまほうさいし かい
 団体名 大阪狭山防災士の会
 ふりがな たけうち ゆきお
 代表者氏名 竹内 幸雄

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及び部門	～みんなで学ぶ防災体験&ペットと同行体験～ ・チャレンジ部門 ◎自立促進部門 (提案型・ テーマ型)		
総事業費	225,000 円		
補助対象経費	225,000 円		
補助金交付申請額	150,000 円		
添付書類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他 (会則、役員名簿、チラシ)		
※市 使用欄	部門・回数	年	部門 回
	実績		

(別紙1)

団体名 大阪狭山防災士の会

事業計画書

1. 事業名 ～みんなで学ぶ防災体験&ペットと同行体験～

2. 事業内容・目的

各地では定期的な防災訓練・体験等のイベントが開催されています。しかし、当市では近年大きな災害を受けた経験がなく、住民の災害意識が低く、防災訓練等への参加も少ない現状があります。特に、若い人達の参加者が少なく、高齢者の参加者が多い地域が目立ちます。また、年々災害発生時での避難支持・支援が必要な人々が増加しており、さらに地域での活動出来る住民の減少や災害の激甚化により、災害対応時のリスクも高まっている現状があります。さらに近年、多くの家庭でペットが飼われており、災害時の同行避難についての対応が課題になっています。

地域防災力を高めるためには、平時において、自主防災組織・自治会・防災士や消防団及び行政が連携して防災意識の啓発や体験型防災訓練等を通じて、災害に対する事前の備えのある地域社会づくりを進める事が大事であり、小規模の研修や講座を随時開催していく事も必要と考えています。

今回、新たに取り組むペット同行避難は、環境省が「買い主はペットと一緒に避難する」同行避難を推奨しています。また、当市は現在、公益社団法人大阪府獣医師会と「災害発生時における動物救護活動に関する協定」を締結しています。

ペットと暮らす方にとっては、ペットは大切な家族の一員であり、是が非でも守りたい命です。ただ、災害発生時は、どうしても人命最優先になります。だからこそ、ペットの命を守るためには、防災対策がなによりも大切です。

開催されている防災体験では、人を対象として又はペットだけを対象とした体験が行われていますが、私たちは同時に人とペットの防災体験を行いたいと考えています。

この問題は、災害発生時に必ずトラブルが多い課題だと聞いています。人と動物の共生する社会づくりを推進すると共に平時から行うべき対策や災害時の同行避難等について、買い主などへの普及啓発を行ないます。

3. 事業実施期間 令和7年4月～令和7年12月

4. 事業実施場所 大阪狭山市立南第一小学校

5. 事業対象者 大阪狭山市内の市民、ペットと同行避難で悩んでおられる方、防災組織など

6. 参加者見込人数 ◎主催者 14人 ・ ◎一般 200人前後

7. 協力・連携等行う団体

団体名	自主防災組織、大阪府獣医師会	確定 ・ <u>交渉中</u> ・ その他
協力・連携等 内 容	イベントでのサポート、指導、展示など	

8. 事業の広報・参加者の募集方法（市民への周知方法等について書いてください。）

チラシ配布（市内の自治会・自主防災組織）
市の広報誌・金剛コミュニティへの掲載 等

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

イベント準備から終了までの予定工程
4月～10月 準備工
11月 準備工・イベント実施(中旬)
12月 事業ふり返り

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- ① 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- ② 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③ 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- ④ その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - (2) 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7) 環境の保全を図る活動
 - ⑧ 災害救援活動
 - ⑨ 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - (13) 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

<備考>

事業実施時の新型コロナウイルス感染症予防対策について下記にご記入ください。

- ・基本的には、参加者自身の意向を重んじることにする。
- ・参加者に感染予防対策への協力を依頼する。
- ・室内事業実施の場合は、マスク着用、手指の消毒を推奨する。野外使用時には、暑さの状況により、熱中症予防など臨機応変に対応する。
- ・緊急事態宣言などの発令があったときは、事業内容の変更または中止を検討する。

(別紙2)

収支予算書

団体名 大阪狭山防災士の会

7

nenndo

(単位:円)

収入の部

項目	予算額	内容説明
1. 団体自己負担金	10,000	自己資金 10,000円
2. 市補助金	150,000	市民公益活動補助金希望額
3. 事業収入	0	
4. 寄附金・協賛金	65,000	協賛金 5,000円×1口 10,000円×3口 30,000円×1口
5. その他	0	
合計	225,000	

支出の部

項目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	93,000	93,000 /	
2. 旅費	8,500	8,500 /	
3. 需用費	25,000	25,000 /	
4. 役務費	6,000	6,000 /	
5. 委託料	0	0	
6. 使用料及び賃借料	80,000	80,000 /	
7. 原材料費	10,000	10,000 /	
8. その他	0	0	
合計	225,000	225,000	

《経費説明資料》

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
1. 報償費	講師謝礼	30,000	1	30,000 /	30,000 /	
1. 報償費	構成員謝礼	10,000	1	10,000 /	10,000 /	
1. 報償費	構成員謝礼	5,000	7	35,000 /	35,000	
1. 報償費	構成員謝礼	3,000	6	18,000 /	18,000	
2. 旅費	講師交通費	1,500	1	1,500	1,500	
					頁計	94,500 /
						94,500
					合計	94,500

《経費説明資料》

(別紙2)裏面

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
	スタッフ謝礼(交通費)	500	14	7,000	7,000	
3. 需用費	チラシ作成費(1,000部)	25,000	1	25,000	25,000	
4. 役務費	保険料	30	200	6,000	6,000	
5. 委託料				0	0	
6. 使用料・賃貸料	ユニットハウス、テント(運搬費共)	80,000	1	80,000	80,000	
7. 原材料費	会場案内板作成費	10,000	1	10,000	10,000	
8. その他					0	
8. その他						

頁 計	128,000	
	128,000	
合 計	222,500	

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	大阪狭山防災士の会		
設 立 年	令和6年	会員数 (社員数)	14人 ★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。
法人格の有無	有 ・ (無)		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ (無)	ホームページ・フェイスブック等	有 ・ (無)
主な活動内容 と 活 動 実 績	<p>【目的】 「自助」「共助」「協働」の原則のもと、防災士資格を有する者及び防災活動に関心のある者の防災・減災に関する知識とスキルの向上並びに相互の連携を図るとともに、地域住民の防災・減災に対する意識の向上と地域の自主防災組織の活性化に協力し、大阪狭山市の安全・安心なまちづくりに寄与する</p> <p>【活動】 目的を達成するために、概ね大阪狭山市域において次の活動を行う。 ・行政機関をはじめとする防災関係機関等と連携した地域防災力の向上に資する活動。 ・市民、小中学生等を対象とした防災教育、防災啓発に資する活動。 ・自治会等に対する防災講話 ・災害時における支援活動。</p> <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過 去 の 補 助 実 績	・ 令和7年2月 猫ともクラブ in 大阪狭山主催 イベントへの参加。 ・ 令和7年2月 大阪狭山市公民館主催 防災啓発 能登復興応援&防災啓発プロジェクトへの参加。		
今 後 の 展 開	・ 市内の各種団体と連携した活動を積極的に展開していきたい。 ・ 団員のスキルアップや各種研修会等に積極的に参加していきたい。 ・ 行政の防災に関連した行事等には、より積極的に連携し推進していきたい。		
担当者連絡先	ふりがな 担当者名 たけうち ゆきお 竹内 幸雄 住 所 電 話 E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：大阪狭山防災士の会

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>定期的に防災訓練や体験が行われているが、参加者が少なく災害の発生意識と避難意識が乏しいのが実情である。またペットを飼っている高齢者も多い。しかし、避難訓練・体験を行っているところがなく大きな課題である。人とペットの訓練・体験を通じて、人間と動物の共生を考える時である。まずは実践すること。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>本事業は、時間と理解及び工夫等多様なケースを想定して準備・計画して実施していかなければならない事業である。地域により方向性や実践頻度に温度差がある。 防災は、年代等に関係なく地域の全ての人々に影響するもので、イベント時は、広く参加を呼びかけ実施する。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>本計画は、専門的に経験している。今回の計画は、今までの経験などを通じて課題の一つとして考えていたものを計画・実践するもので、体制も万全を期したい。併せて予算も妥当と考える。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>当防災士の会は、今、必要な事は何であるか、参加者がこの防災訓練・体験が自ら必要性を感じられる状況を作るためのアイデアを出し合いながら計画したものである。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>収支予算書のとおりである。今後、堅実に事業収入や協賛金・寄付金等を得る方策を考えていく。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>事業計画書の「事業の広報・参加者の募集方法」とおりである。 誰が見てもわかりやすいものになっていると考える。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>防災に必要な知識を得るだけでなく、共助の必要性について触れられるのも大きなメリットと考えます。助け合うことや地域コミュニティの必要性を感じてもらい事や新しく取り入れる人とペットの理解を日常的でも考えて頂ける機会を提供したい。</p>

2025年2月28日

（あて先）大阪狭山市長



所在地
 団 体 名 たまゆら（介護者家族の会）
 代表者氏名 浅野 子希子

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及 び 部 門	たまゆら（介護者家族の会）		
	・チャレンジ部門 ・自立促進部門（提案型・テーマ型）		
総 事 業 費	98,000	円	
補 助 対 象 経 費	98,000	円	
補助金交付申請額	65,000	円	
添 付 書 類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他（ ）		
※ 市 使用欄	部門・回数	年	部門 回
	実 績		

(別紙1)

団体名 たまゆら、
大阪狭山市介護者家族の会

事業計画書

1. 事業名 介護者家族の会

2. 事業内容・目的

たまゆらは、自宅で家族と介護している当事者、又は介護施設に入所している家族を応援している方、又は大切な人と介護をして亡くされた方等々、色々な葛藤の中で当事者でしかわからない感情により泣く場として活動している。こでの介護のヒントも得える。
時にいしの場としてピアコンサータや、学びの場としての講演なども有り

3. 事業実施期間

4. 事業実施場所 公共施設。(ジャマ荘、マツコ荘、市役所等)

5. 事業対象者 介護に携わる一般市民。

6. 参加者見込人数 ◎主催者 6人 ・ ◎一般 人

7. 協力・連携等行う団体 けいけん館、花苑、GHAあおぞら

団体名	<u>好寿苑、くみの王苑、マヤ和屋</u>	◎確定 ・ 交渉中 ・ その他
協力・連携等内	<u>陽にまりの午、花舞の郷、フレンドシップ</u>	
協力・連携等内	<u>運営する為の資金の足しとして賛助会員として年会費を頂いている。又、介護の専門職として参加して頂き助言等も頂いている。</u>	

8. 事業の広報・参加者の募集方法 (市民への周知方法等について書いてください。)

大阪狭山市の広報、回覧板、チラシ、
会員様にははらまでお知らせ。

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

1. 2ヶ月に1度、交流会を開催、年に1度 総会やピアコンサータ、
マの、ミーティングセラピー等も有り、
役員や会員様に発信。

◎申請事業に該当するものすべてを下記のⅠ、Ⅱの中からそれぞれ選び、その番号を○で囲んでください。

Ⅰ. 大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第4条第1項に規定する事業

- (1) 市民公益活動団体間の連携を図る事業
- (2) 新しい公共サービスのあり方を実践的に提案する事業
- ③ (3) 市と協働して行うことで共通の公共的目標達成に向け効果が期待できる事業
- (4) その他市民公益活動の活性化につながる事業

Ⅱ. 特定非営利活動促進法第2条関係の別表に掲げる20の活動分野より

- ① (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
 - (2) 社会教育の推進を図る活動
 - (3) まちづくりの推進を図る活動
 - (4) 観光の振興を図る活動
 - (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
 - (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
 - (7) 環境の保全を図る活動
 - (8) 災害救援活動
 - (9) 地域安全活動
 - (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
 - (11) 国際協力の活動
 - (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
 - (13) 子どもの健全育成を図る活動
 - (14) 情報化社会の発展を図る活動
 - (15) 科学技術の振興を図る活動
 - (16) 経済活動の活性化を図る活動
 - (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - (18) 消費者の保護を図る活動
 - (19) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 - (20) 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動
- ※大阪府条例で定めている活動はありません。

(別紙2)

収支予算書

団体名 たまゆら
大阪狭山市介護者家族の会

収入の部

項目	予算額	内容説明
1. 団体自己負担金	33,000 32,600	会費 @100円 @1200円(中額) @1200円(1口)
2. 市補助金	65,000	
3. 事業収入		
4. 寄附金・協賛金		
5. その他		
合計	98,000	

支出の部

項目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費			
2. 旅費			
3. 需用費	63,000	63,000	0 6,500
4. 役務費	35,000	35,000	0 35,000
5. 委託料			
6. 使用料及び賃借料			
7. 原材料費			
8. その他			
合計	98,000	98,000	0

(単位:円)

《経費説明資料》

項目	内容	単価	数量	合計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
需要費	事務費: 消耗品 印刷費 紙金費	63,000	1	63,000	63,000	
役務費	通信費 保険代	35,000	1	35,000	35,000	

頁計	98,000
合計	98,000

(別紙3)

団体概要書

団体名	たまゆら (大阪狭山市 介護者家族の会)		
設立年	平成 26 年	会員数 (社員数)	32 人 <small>★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。</small>
法人格の有無	有 ・ (無)		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ (無)	ホームページ・フェイスブック等	有 ・ (無)
主な活動内容 と活動実績	<p>たまゆらとしては平成26年設立となっているが、それまでは地域包括 が主体となっていた。約1ヶ月に1度交流会を行ない介護をしている 者へのわかりやすい悩み又は喜び、毒を吐いて泣いて、帰り時には 笑って、その中からは、実践してきたからこけかき歩きの学び、など有 時に専門職からの研修や、(認知症・看取り・身体介護等)、いやしの コンサートや、御会事会も有り。</p> <p>認知症の奥様と一緒に参加された家族様もいらした。</p> <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過去の補助 実績			
今後の展開	<p>正会員を増やす為、"たまゆら"を広く周知して頂けると 活動と補助金を使わせて頂き行なっていきたい。</p> <p>家族の介護等でもかかっているか、次はいらしゃるので、 一人でも多くの方にいやしの場として提供していきたい。</p>		
担当者連絡先	ふりがな 担当者名	アサノ アキコ 浅野 守希子	
	住所		
	電話		
	E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>超高齢化社会となっており認知症を患っている人も増えている。介護に際しては皆、関心のある事であり、行政からも期待されている。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>発足は平成26年であり、すでに10年以上経過している。 正金負担が少なくなってきたこと、もっと広げて、介護に行きつめているところからいえるので、今後も頑張りたい。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>毎年の総会の中で、全て報告し承認している。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>介護は、家族に焦点をあてているが、新しいアイデアで</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>会費、寄付金、協賛金有り 但し商額は期待できず。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>今年初めて、地域の回覧板にチラシを置いての事になっている。 総会にて用示している。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	

令和7年 2 月 28 日

（あて先）大阪狭山市長



所在地
 ねこ くらぶ いん おおさか さやま
 猫ともクラブin大阪狭山
 代表者氏名
 なかた ともこ
 中田 智子

大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付申請書

大阪狭山市市民公益活動促進補助金の交付を受けたいので、大阪狭山市市民公益活動促進補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

補助対象事業の名称 及び 部 門	ペット防災～さやりんの箱舟大作戦～		
	・チャレンジ部門 <input checked="" type="checkbox"/> 自立促進部門（提案型・ <u>テーマ型</u> ）		
総 事 業 費	315,000	/	円
補 助 対 象 経 費	315,000	/	円
補助金交付申請額	210,000	/	円
添 付 書 類	(1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 定款、会則又はこれに準ずるもの (4) 団体の概要説明書 (5) その他（ ）		
※ 市 使用欄	部門・回数	年	自立促進部門 部門 3 回
	実 績		

(別紙1)

団体名 猫ともクラブ in 大阪狭山

事業計画書

1. 事業名 ペット防災～さやりの箱舟大作戦～

2. 事業内容・目的

【事業の目的】大阪狭山市内で被災した場合にペットと共に避難できる場所がある、という選択肢はとても重要である。今回の事業では、ペットだけではなく誰もが助かる防災への備えについて、様々な意見、アイデア、情報収集などが行える場を作ることを目的とする。またイベントなどを通して、自助・共助につながる関係づくりのきっかけとなることを期待したい。(みんなで「さやりの箱舟」を作っていきましょう!)

【事業の内容】

- ① ペット防災について学ぶ (先行事例検討会・あったらいいなミーティングなど)
- ② 避難訓練 (わんこ防災・なんちゃってHUG など)
- ③ マイタイムラインを作ろう!

3. 事業実施期間 令和7年6月1日から令和8年3月31日

4. 事業実施場所 大阪狭山市内各所・狭山池博物館ホール・さやかホールなど

5. 事業対象者 大阪狭山市民・在勤、在学者、どなたでも

6. 参加者見込人数 ◎主催者 10人 ・◎一般 200人

7. 協力・連携等行う団体

団体名	大阪狭山市防災士会、危機管理室、社協、市民活動支援センター、防災レンジャー、自治会、町会など	確定 ・ 交渉中 ・ その他
協力・連携等内 容	情報提供、指導・助言、場所提供、広報、参加への呼びかけ、協働など	

8. 事業の広報・参加者の募集方法 (市民への周知方法等について書いてください。)

広報誌への掲載、SNSの活用、チラシ・ポスターの掲示、配布など

9. 事業実施スケジュール及び事業実施上の組織体制

事業実施スケジュール【6月】自治会、町会向けアンケート配布、あったらいいなミーティング①、
 【7月】先行事例検討会①、わんこ防災①【8月】マイタイムラインを作ろう① ✓
 【9月】避難所運営ゲーム (HUG) ①、わんこ防災②【10月】先行事例検討会② ✓
 【11月】わんこ防災③【12月】マイタイムラインを作ろう② ✓
 【1月】先行事例検討会③、わんこ防災④ ✓
 【2月】あったらいいなミーティング②【3月】わんこ防災⑤、避難所運営ゲーム (HUG) ② ✓

組織体制【広報班】(チラシ作成、配布)【記録・報告班】(議事録作成・アンケート集計)
 【渉外班】(関係機関調整・講演依頼)【運営班】(イベントの準備・進行)

(別紙2)

収 支 予 算 書

団体名 猫ともクラブin大阪狭山

収入の部

項 目	予算額	内 容 説 明
1. 団体自己負担金	15000	団体自己負担金
2. 市補助金	210000	市民公益活動促進補助
3. 事業収入		
4. 寄附金・協賛金	90000	寄附金@1,000円×30口=30,000円/ 協賛金@3,000円×20口=60,000円/
5. その他		
合 計	315000 /	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	補助対象経費	補助対象外経費
1. 報償費	60000 /	60000 /	
2. 旅費	12000 /	12000 /	
3. 需用費	123000 /	123000 /	
4. 役務費			
5. 委託料			
6. 使用料及び賃借料	120000 /	120000 /	
7. 原材料費			
8. その他			
合 計	315000	315000 /	

《経費説明資料》

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	うち補助対象経費	うち補助対象外経費
1.報償費	講師謝礼(うち回内部構成員)	5000	12	60000 /	60000 /	
2.旅費	講師交通費	1000	12	12000 /	12000 /	
3.需用費	資料書籍等購入	2500	30	75000 /	75000 /	
	コピー代、チラシ・ポスター印刷	8000	6	48000 /	48000 /	
6.使用料及び賃借料	会場使用料、設備レンタル料	10000	12	120000 /	120000 /	
					315000 /	
				頁 計		315000 /
				合 計		315000 /

(別紙3)

団 体 概 要 書

団 体 名	猫ともクラブ in 大阪狭山		
設 立 年	2021 年	会員数 (社員数)	13 人 <small>★役員名簿を添付すること。 ★法人の場合は社員数を記入。</small>
法人格の有無	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
会報等の発行 (メールマガジンを含む)	有 (年 回) ・ <input type="checkbox"/> 無	ホームページ・フェイスブック等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
主な活動内容 と 活 動 実 績	<p>【主な活動】</p> <p>① 地域猫活動の啓発・サポート</p> <p>② 猫と人の相談窓口</p> <p>③ 猫ボランティア支援</p> <p>④ ペット防災啓発活動</p> <p>【活動実績】</p> <p>2022年4月3日「ねこのタウンミーティング」</p> <p>2023年2月5日「杉本 彩さん 講演会」</p> <p>2023年10月29日「地域猫活動ってにゃんだ？」</p> <p>2025年2月8日「ペット防災～いっしょに逃げてもいいのかな？」</p> <p>★活動内容がわかるチラシ、パンフレット等ある場合は添付すること。</p>		
過 去 の 補 助 実 績	2022年度市民公益活動促進補助金 「人も猫もしあわせなまちづくり～さくら猫おそうじパトロール～」 「杉本彩さん講演会」 2023年度市民公益活動促進補助金「地域猫活動ってにゃんだ？」		
今 後 の 展 開	① 猫と人の相談窓口の拡充 ② ペット同伴避難の推進 ③ 人も猫も安心して暮らせるコミュニティをめざす啓発活動		
担 当 者 連 絡 先	ふりがな 中田 ともこ 担当者名 中田 智子 住 所 電 話 F A X E-mail		

申請団体自己PR票

申請団体名：

PR項目	PR内容記入欄
<p>① 公益性 広く一般市民を対象とし、市民に共感が得られる内容となっているか。事業の成果が不特定多数の市民の利益につながる事業であるか。地域の課題解決につながる事業であるか。</p>	<p>ペットがいる家庭では、ペットは家族の一員であるという意識が当然のこととしてあるため、共感される方は多い。また、ペットに限らず避難がしにくい独居の高齢者・障がい者の方たちの避難にもつながる課題であると考えます。</p>
<p>② 発展性 団体や事業内容が一過性に終わらず、発展する可能性が高いか。市民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。幅広い世代や他の地域、市民活動団体を巻き込み、広く波及する事業であるか。</p>	<p>自治会に入っておられない方が増えていると聞くため、個人・団体が協働し、自助・共助のつながりを作るきっかけとなる事業であると思われる。</p>
<p>③ 計画性 事業計画は実現可能であり、実施に向けてのスケジュール、方法、体制および予算が妥当なものか。</p>	<p>これまでの活動で得たつながりや経験上、ある程度の見通しが立てられるため、妥当な計画であると考えます。</p>
<p>④ 先駆性 団体の特性が活かされ、事業内容にアイデアと工夫があり、新たな視点や発想から提案されたものであるか。</p>	<p>猫と人のサポートをしてきた中からの視点で、防災に関して提案することができると考えています。</p>
<p>⑤ 自立目標度 補助金だけに頼らず、自己努力による資金確保（会費・寄付金・協賛金・参加費等）に努めているか。事業の継続的な展望が期待できるか。</p>	<p>昨年より会費を徴収するようになったとともに、様々な形で協賛していただく事ができるように広報に努めている。</p>
<p>⑥ 情報開示度 事業をPRするために広報活動（ポスターやチラシ、SNS等）を積極的に行っており、事業計画書や収支予算書は、第三者が見てもわかりやすいものになっているか。</p>	<p>SNSで定期的に活動報告を上げている。また、積極的に地域や他の団体のイベント参加を心がけ、より多くの人に知ってもらうよう努力している。</p>
<p>⑦ プレゼンテーション 事業内容が的確に伝えられ、事業を成し遂げたいという熱意と意欲が感じられるか</p>	<p>事業内容が的確に伝わるように準備をしている。この事業がきっかけでコミュニティのつながりができ、誰もが助かる防災に備えたいと強く願う。</p>